

被爆 75 周年原水爆禁止世界大会メッセージ



被爆 75 周年原水爆禁止世界大会に際し、改めて、広島・長崎への原爆投下により命を落とされた何十万人もの犠牲者の方々に心より哀悼の意を表するとともに、今なお被爆の後遺症に苦しんでいる多くの方々に心からお見舞い申し上げます。また、核兵器の廃絶と原爆被害者の救援に向けた皆様のたゆまぬご努力に対し心よりの敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症の影響で、本年ニューヨークで行われる予定だった NPT 再検討会議が 1 年延期となりました。しかし、その間も NPT の意義の再検討を行い、核使用のリスクを大幅に削減しながら、核廃絶に進んでいく方策を真剣に模索すべきです。

私たち立憲民主党は、基本政策において「非核三原則をこれからも堅持」することを明記しています。日本は唯一の戦争被爆国であり、平和憲法を基軸に「核兵器のない世界」の実現を目指し、核廃絶を目指す世界の人々と連携して、核軍縮・不拡散の流れを進めて参ります。加えて、被爆者援護については、被爆者に寄り添うという視点に立ち、制度の改正実現、原爆症認定基準の抜本的改定などの課題について引き続き取り組んで参ります。

最後に、本年の原水爆禁止世界大会のご盛会並びにご参加の皆さまの益々のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げ、メッセージとさせていただきます。

立憲民主党代表 枝野幸男